

若い世代の金銭感覚に警鐘を鳴らす
ファイナンシャルプランナー

小屋 洋一

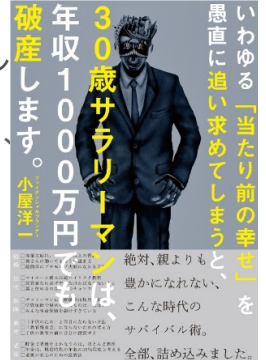
Koya Youichi



- ◆「30歳サラリーマンは年収1,000万円でも破産する！」と唱えるファイナンシャルプランナー
- ◆若者は「親のスネをかじるしかない！」と2世代マネープランニングを考案
- ◆(株)マネーライフプランニング代表取締役

【現代は マネープランの立案が難しい!】

ファイナンシャルプランナーの仕事は、ライフプラン(人生設計)と、マネープランを立てること。自分が死ぬまでの仕事、結婚、子育て、住宅購入、退職後の生活、相続等、人生の計画を立てて、「お金」の面からサポート・アドバイスを行います。ところが、現代の30代のサラリーマンは、団塊の世代(親世代)と比べ、生涯賃金だけでも数千万の受給格差があり、“貧乏”すぎてプランの立案自体が不可能な現状。年収1,000万円でもマネープランニングが破綻するといいます。小屋氏は、時代に合わせたコンサルティングを行う事で注目されています。



こんな人が、いちばん危ない!

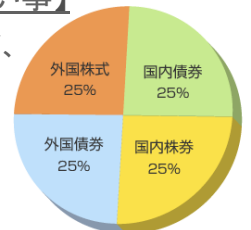
- 収入に見合うレベルの生活をしていると思う。
- マイホームを購入した、もしくは購入したい。
- 保険は、大人のたしなみだと思う。
- よくわからないけど、老後も何とかかなと思う

【消費税UP + 物価上昇は 家計を苦しめる!!】

物価が上がれば、相対的にお金の価値は下がります。物価が2%上がれば、1000万円の現金は実質20万円分『目減り』することになり、980万円分の価値しかなくなってしまうのです。8%にとどまらず13%まで引き上げられる消費税に加え、家計にはダブルパンチ。そこで必要になるのが、自己防衛策です。

【賢い資産運用で“お金の価値”を下げない事】

株や投資信託など、様々な資産運用がありますが、現在の平均的な日本人の金融資産は、8割近くが「銀行預金」と「保険・年金」に偏っているという非常にいびつな現状です。オススメする「賢い資産運用」の方法とは、円高・円安・インフレ・デフレいずれの状態になっても良いように、「リスク分散」して全ての資産を保有しておくことです。



【小屋流 消費税対策術7】

- ① 「20年先までのライフプランを立てる」
- ② 「耐久消費財の駆け込み需要の損得を仕分けする」
- ③ 「固定費の見直しをする」
- ④ 「不動産の買い時はプロに聞け!」
- ⑤ 「預金の目減りを防ぐ」
- ⑥ 「年金の目減りを補う」
- ⑦ 「自分年金を作る」

動画サイト「GyaO!」の番組で上昇する消費税の対策法7つを分かりやすく紹介しています。



【ぜひ取材をご検討ください】

- ・現代の20代、30代のお金の事【現状、トラブル、貯蓄法、団塊世代の実状】
- ・消費税対策 ・資産運用、景気に左右されない金融商品、不動産投資など

取材のお問い合わせは、ホワイトナイト(株)久保まで TEL: 03-5414-2831